

－ 目標Ⅰ. みなとの静穏度と安全性の向上に向けた技術開発 －

●港湾の新しい姿を実現するための先駆的取り組み

2. 港内の暴風対策技術の開発

～ 冬季の暴風対策手法の開発と風による荷役障害の改善 ～
～ 自然エネルギーを利用した発電技術の可能性検討 ～

■開発の背景

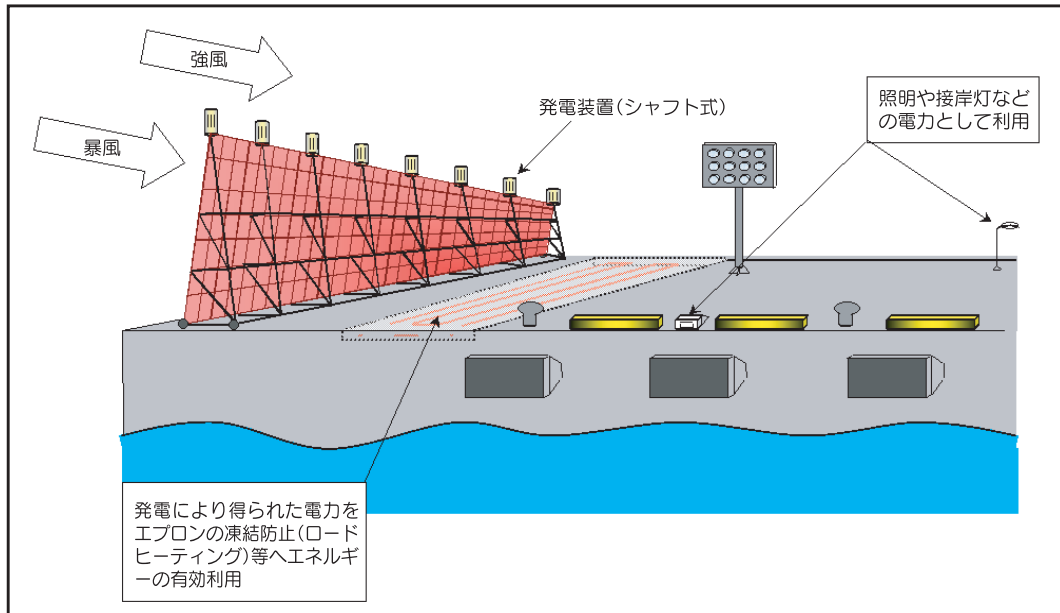
管内の港湾は多くが外洋に面しており、冬季風浪や台風、暴風などにより荷役効率が著しく低下している現状にあります。

特に、日本海側の港では冬期間風が強く、港内静穏度はもとより、強風でコンテナ荷役等の港湾荷役作業に支障をきたしています。

■開発の目的

暴風の影響を受ける荷役障害の解消（安全性の向上）

■開発イメージ



■開発の目標

荷役稼働率の向上、自然エネルギーを利用した発電技術の可能性検証

■開発項目

▶暴風対策

- 冬季の荷役に対する暴風対策（防風施設）の検討
- 風洞実験及び数値シミュレーションによる遮風効果の比較検討
- 効果的な防風施設の構造形式選定

▶自然エネルギーの有効利用

- 防風施設への付加機能（発電技術）の可能性検討